

3 3ヶ年スケジュール

2014
年度
事業1年目

事業着手と各研究開発

木質ボイラ1基の詳細設計、工事、稼働
木質ボイラ導入費の総括、コストダウン手法開発
高品質&低価格チップ・ペレット生産手法の調査研究
休耕地での燃料用樹木の栽培
広葉樹林経営について現状調査、利用計画策定
地域づくりのための市民向けシンポジウム開催 など

2015
年度
事業2年目

システム本格稼働と標準化

コストダウンして木質ボイラ複数基追加導入、稼働
導入した木質ボイラから他重油ボイラへ接続拡張
高品質&低価格チップ・ペレットの生産手法を実証
広葉樹林からの効率的な伐出手法(列状間伐など)を実証
広葉樹森林経営のための人材育成プログラム研修の整理
熱供給事業の標準化、マニュアル化の整理
住民向けソーシャルマーケティング、観光客向けプロモーション実施
視察見学ツアーのテスト運用 など

2016
年度
事業3年目

事業体構築とFC準備、成果報告

高品質&低価格チップ・ペレットの安定生産
広葉樹林の経済的評価手法の整理
木質ボイラ運転/メンテナンスノウハウの蓄積、標準化
業界/行政関係者向け事業成果発表カンファレンス開催
熱供給事業を行う株式会社の設立
熱供給事業のフランチャイズ化準備
住民向けソーシャルマーケティング、観光客向けプロモーション実施 など

4 「あわら三国もりもりバイオマス」推進と拡大

- ① 協議会を母体とする事業会社を立ち上げて熱供給事業を展開していくことを目標としています。
- ② 熱供給事業の立ち上げと運営ノウハウをマニュアル化して同様の事業を始めた事業者のための支援ツールを整理します。

5 「あわら三国もりもりバイオマス」構成団体

この事業は、マルツ電波、坂井森林組合、あわら・坂井市内の旅館、ホテル、民宿、観光施設など約30団体でつくる「あわら三国木質バイオマスエネルギー事業協議会」が行っています。

あわら三国木質バイオマスエネルギー事業協議会

マルツ電波
坂井森林組合
福井県森林組合連合会
伝統旅館のぬくもり 灰屋
長谷川
べにや
グランディア芳泉
あわらの宿 八木
あわら温泉 美松
みのや泰平閣
芦原温泉 清風荘
三国観光ホテル
越前松島水族館
越前松島茶屋組合
三國會所
三国湊ソーラーファーム協議会
三国湊魅力づくりPJ
福井新聞社
福井銀行
トモエテクノ
福井製作所
宝来社福井
共立工業
パナソニックESエンジニアリング
石黒建設
ケーズクリエイション合同会社
アルファフォーラム
ビー・ティー・ピー
オブザーバー：福井県農林水産部県産材活用課
福井県安全環境部環境政策課
あわら市市民福祉部生活環境課
あわら市経済産業部農林水産課
坂井市生活環境部環境推進課

(平成28年8月現在)

お問い合わせ先

あわら三国木質バイオマスエネルギー事業協議会
〒910-0857 福井市豊島2-7-4 株式会社マルツ電波内
電話：0776-22-0464
FAX：0776-27-0210
担当：清水 (m-shimizu@marutsu.co.jp)
URL：http://morimori-biomass.jp/



2014 - 2016

あわら三国 もりもり バイオマス

正式名称を「あわら三国木質バイオマスエネルギーを活用したモデル地域づくり推進事業」といい、あわら市・坂井市三国町の観光施設の熱源として化石燃料の代わりに、県産の未利用木材をエネルギーとしてもりもり使いながら、森林を適正に管理し持続可能な循環型社会づくりに取り組む事業です。

1「あわら三国もりもりバイオマス」の事業内容

木質バイオマスとは木質系由来の燃料のことをさし、当事業は木質バイオマスから生産する熱エネルギーを利用するものです。

●木質バイオマスエネルギーの有効活用

日本は国土の約7割を森林面積で占め、先進国の中でも有数の森林大国です。しかし現在、豊かな森林資源は十分に活かされず森の高齢化、荒廃化が進んでいます。そのため当事業では地元の未利用間伐材などを有効に利用します。具体的には木材等を切削して作ったチップやペレットを燃料とする温水ボイラ、薪やペレットを使うストーブをあわら温泉の各旅館、坂井市三国町のホテルなどに導入し、シャワー・給湯・暖房などの熱源などとして活用します。

●地産地消と林業活性化

燃料は坂井森林組合の「WOODバイオマスセンターさかい」で生産したものを使用し、原料調達から熱供給、消費までを地域の中で行う地産地消システムの確立を目指しています。

森林資源を活用することで森林の更新につながり、林業が活性化し新たな地域雇用が生まれます。

当事業では **一定品質の燃料の安定調達・木質ボイラ導入コストの低減・地域づくりの促進** に取り組みます。

●ボイラ・ストーブ導入実績一覧

【木質チップボイラ】

- ・グランディア芳泉
- ・三国観光ホテル
- ・あわら温泉美松



【薪ストーブ】

- ・おけら牧場
- ・長谷川
- ・坂井森林組合
- ・みのや泰平閣



【ペレットストーブ】

- ・灰屋
- ・aキューブ



木質ボイラでつくった熱を販売する「**熱供給事業**」を実用化し、全国に展開していくことに取り組みます。

2「あわら三国もりもりバイオマス」の利点

事業の取り組みによってエネルギーの地産地消を促進し

木材資源の有効活用

間伐未利用材や林地残材を資源として有効に活用できます

森林整備の促進

間伐と育林を適正に行うことで森林の保全、活性化につながります

地域雇用

林業や熱供給産業で地域雇用が生まれ、燃料代金が地域循環します

CO₂の排出削減

カーボンニュートラル※な資源のため、化石燃料よりCO₂が排出されません

観光客集客

「森とエネルギー」のブランド化により観光客集客につながります

林業の六次化

林業、燃料加工、熱生産と販売までを総合的に行います

エネルギーコスト削減

安定的に燃料を調達でき、持続的なエネルギー供給とコスト削減が可能です

につなげていくことができます。

※カーボンニュートラル…植物の成長過程における、光合成による二酸化炭素の吸収量と、植物の燃焼による二酸化炭素の排出量が相殺され、実際に大気中の二酸化炭素の量はプラスマイナスゼロになるという考え方。

目指す熱供給事業のイメージ

- ・協議会が母体となって民間による熱供給事業会社を設立します
 - ・熱供給事業会社が木質ボイラを所有し、設置から木質燃料の供給、メンテナンスまでを一括して行います
 - ・需要者は使用した分の「熱」を購入します
- この仕組みの確立により、需要者は気軽に木質ボイラの熱が利用できるようになります。